

南三陸町歌津総合支所

化石展示室



令和3年4月1日～オープン

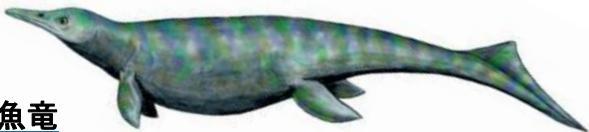
南三陸町教育委員会

化石の町・南三陸町へようこそ

南三陸町歌津総合支所内に化石展示室ができました。これまで「歌津コミュニティ図書館・魚竜」内で展示されていた化石に加え、東日本大震災で被災し、レスキューされた化石もふるさとに戻ってから初展示されています。南三陸町の「宝」をぜひご覧ください。

南三陸町内で発見された3種の魚竜化石

南三陸町は、異なる時代に生息していた3種の魚竜化石が見つかった場所として世界的にも重要で有名な場所です。特に、世界最古級のウタツギヨリュウは魚竜の進化の過程を知る上でとても重要な化石です。



世界の魚竜

世界では、体長70cmほどのものから体長21mを超すようなものまで多くの種類の魚竜が確認されています。その中から、展示室ではドイツで発見されたステノプテリュギウスとイタリアで発見されたベザノザウルスの化石を展示しています。どちらも大型の化石で迫力満点です。

魚竜とは？

「魚竜」とは1億5千万年もの間世界中の海に棲んでいた爬虫類で、魚やイルカのような見た目です。爬虫類ですが胎生（母体で成長し親とほぼ同じ姿になって生まれてくる）で恒温性（周囲の温度変化に関係なく体温がほぼ一定に保たれる性質）の動物で、大きな目玉が特徴的です。

示準化石とは？

「示準化石」とはその化石が産出した地層がどの時代のものかを特定できる基準となる化石です。クダノハマギヨリュウの年代特定にも、一緒に見つかったアンモナイトが一役買いました。

アンモナイト

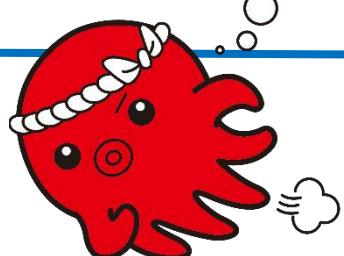
アンモナイトは3億5千万年もの間、世界中の海に棲んでいたイカやタコと同じ頭足類の仲間です。化石として残りやすく有名な示準化石の一つです。



囊頭類（のうとうるい）化石

囊頭類は、前期シルル紀から後期白亜紀までの3億6000万年以上にわたって赤道近くの浅い海に生息した生き物です。節足動物甲殻類の一種で、エビなどに近い生き物と言われていますがその関係性は詳しくわかっておらず、まだ謎が多い生き物です。体のほとんどを甲皮と呼ばれる殻で覆われ、前縁部に大きな複眼がついています。南三陸町が日本初産出であり、発見された囊頭類には新種のものも含まれ、その中のひとつは「北上」と「歌津」の名をとって「キタカミカリス・ウタツエンシス」と名付けられました。

南三陸町歌津総合支所化石展示室



〒988-0451 宮城県本吉郡南三陸町歌津字管の浜60番地

TEL: 0226-46-1341 (南三陸町教育委員会事務局生涯学習係)

時間: 午前8時30分から午後9時まで (年末年始を除く。) 観覧料: 無料

アクセス: お車をご利用の方 三陸自動車道歌津ICから国道45号線を気仙沼方向に3km (約5分)
南三陸町歌津総合支所の駐車場をご利用ください。

JR線をご利用の方 JR 気仙沼線 (BRT) 「歌津駅」から徒歩24分またはタクシー4分

お願い: 展示スペース近くでの飲食はご遠慮ください。また、施設内は全面禁煙です。

化石には手を触れずにご覧ください。フラッシュ撮影はご遠慮ください。